

緑内障治療は長い旅路

～緑内障診療ガイドライン第5版
アドヒアランスの視点から～

2022年10月14日(金)

17:00～18:00

東京国際フォーラム Bブロック5F ホールB5(1)
第4会場

座長



相原 一 先生
(東京大学)

人生100年時代に向けて、緑内障になっても何とか進行を軽減させることにより、生涯視機能を維持したいものです。緑内障は多くの病型があり、その診断と適確な治療法、そして長期に渡るアドヒアランスが重要です。診断機器の発達や治療選択肢の増加に伴い、多くのエビデンスが得られてきており、日本緑内障学会では、2021年末に緑内障診療ガイドラインを第5版にアップデートしました。本セミナーでは、本庄先生には時代とともに急速に進化している治療方法をアップデートいただき、アドヒアランスの視点からお話しを頂きます。また生杉先生には、より臨床現場に近い視点から、100歳を目指して長期にわたる緑内障薬物治療を如何に患者とともに実行していくか、具体的な実践法について講演いただく予定です。是非とも患者とともに生涯長い旅路を歩めるよう皆様と学びたいと思います。



演者

本庄 恵 先生 (東京大学)

「緑内障薬物治療アップデート」



演者

生杉 謙吾 先生 (三重大学)

「緑内障治療とアドヒアランス」

緑内障治療は長い旅路

～緑内障診療ガイドライン第5版 アドヒアランスの視点から～

日時

2022年10月14日(金)
17:00～18:00

会場

東京国際フォーラム
Bブロック5F ホールB5(1)
第4会場

座長



相原 一 先生 (東京大学)

1989年 東京大学医学部医学科卒業眼科入局
1998年 東京大学大学院生化学細胞情報部門卒業 医学博士
1998年 東京大学医学部眼科 助手
2000年 カリフォルニア大学サンディエゴ校ハミルトン緑内障センター 留学
2003年 東京大学医学部眼科 専任講師
2012年 東京大学医学部眼科 准教授
2012年 四谷しらと眼科 副院長
2014年 東京医科歯科大学医学部眼科 特任教授兼任
2015年 東京大学医学部眼科 教授

演者



本庄 恵 先生 (東京大学)

1995年 京都大学医学部卒業京都大学眼科入局
2001年 京都大学大学院医学研究科視覚病態学 助手
2004年 北野病院眼科 副部長
2006年 京都大学大学院医学研究科視覚病態学 助手
2007年 東京都健康長寿医療センター (2009年より医長)
2015年 東京大学医学部眼科学教室 講師
2019年 東京大学医学部眼科学教室 准教授

演者



生杉 謙吾 先生 (三重大学)

1995年 三重大学医学部卒業
2001年 三重大学医学部眼科学教室 助手
2003年 米国ネブラスカメディカルセンター眼科
2007年 三重大学大学院医学系研究科神経感覚医学講座眼科学 講師
2008年 名張市立病院眼科部長 / 三重大学リサーチアソシエイト兼任
2013年 三重大学大学院医学系研究科臨床医学講座眼科学 講師
2019年 三重大学大学院医学系研究科臨床医学講座眼科学 准教授